



通算第99号

1965~1966-3-16

函館北ロータリークラブ

第89回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.3.0~13.3.0

本日のプログラム (国際理解週間に因んで)

卓話 函館ラ・サール高等学校長 プラザー・ウオラス氏

2. 江差RC 4月より例会日は金曜、会場は北洋相互銀行江差支店に変更。
- ※ 会員卓話 本州と北海道の連絡 成田勇司君
1. 上代に於ける本州と北海道の往来 文献によれば、齊明天皇(658年)の命により阿部比羅夫が軍隊を率いて蝦夷地に渡つた、とあるが始めらしい何故に彼が起用されたか。「日本書紀」には、大化の改新の完全を期するために、中大兄皇子等改新派が豪族阿部比羅夫が反改新派につくのを懸念したとあり、その他諸説あるが定かではない。又元正天皇(715年頃)の御代に、祖先以来朝廷に昆布を献上してきた蝦夷須賀の里(函館)の舎長コマヒルが、都が遠いので土地に郡司をおいてくれるよう陳情したとの記録がある。
2. 鎌倉時代 奥州の藤原泰衡一族が鎌倉幕府に敗れて北海道に渡つた。又日蓮上人の高弟日持上人が渡道し、その遺跡が下海岸の小安にある。
3. 足利時代 1454年松前藩の始祖武田信広が、河野政通、相原政胤等と田名部の城主安東政季を奉じて大畑より渡つて来た。当時函館を宇須岸(うすけし)と言つた。河野政通は現在の公会堂あたり東西35間、南北28間の館を造つたが、向う岸から見た感じが箱のようなので、箱館の名が生まれた。
4. 織田・豊臣時代 天正10年松前慶広が福山城に移り、それから福山〜三厩間の交通が発達した。
5. 徳川時代 1800年幕府は箱館に奉行所を設け、従来の交通路が西に偏するとの理由で箱館〜大洞及び佐井間に航路を新設し、更に1864年に青森及び佐井に航路を指定した。その3年前に青森の滝屋喜蔵が青森〜箱館間の定期飛脚問屋取次所をつくり、月に6度箱館奉行所に荷物や書状を運んでいる。これが定期便の始まりで、当時の運賃は人間も書状も1分であつた。
6. 明治時代 明治2年7月、政府は北海道開拓史を函館において海運の振興をはかり、広明丸、稲川丸を配給し、更に明治6年、三菱商会が政府援助のもとに浪花丸を就航させている。又明治24年9月1日、上野発の旅客列車が始めて青森に到着している。お馴染みの比羅夫丸は明治41年3月、田村丸は同年4月の就航で、比羅夫丸は1480トン、定員436人であつた。
7. 大正時代 白神丸、龍神丸、後半には、翔鳳丸、津軽丸、松前丸、飛鷲丸と続々就航している。その後のことは皆様御承知のことと思います。
- ※ 出席報告
1. 先週の確定出席率 79.31% (2月平均79.57%)
2. 他クラブの状況 函館 86.11% (2月89.73%)  
函館東 88.57% (2月92.86%)
- ※ 次回(2月23日)のプログラム 世界理解週間に因つたものを予定

- ※ 司会 遠藤 会長 ※ 斉唱 奉仕の理想
- ※ ビジター 鈴木竜雄君他6名(函館) 西村敏雄君他4名(函館東)
- ※ 会長報告  
函館東クラブの葉袋省吾さん(明治生命函館支店長)が富山に御栄転されます。同氏には当クラブ創立以来例会場使用に御便宜をいただき感謝します。
- ※ 幹事報告
1. 次年度の新役員が決定したので報告します。飯田さんは出張が多いので補佐のため副会長を2名としました。理事その他は既報の通りです。  
会長 飯田神生君 副会長 神原金一君 成田勇司君
2. 来る3月23日(水曜)午後6時より、「館」にてクラブ・アツセンブリを行ないます。テーマはクラブフォーラムの議題検討です。
- ※ 社会奉仕委員長報告
1. 3月11、12日に「道南青年の家」で青少年教養講座がありました。
2. 「函館市清潔運動協議会」に、他クラブと歩調を合わせ入会の予定です。(1)の寄附金は2,000円、(2)の負担金は3,000円です。
- ※ ニコニコ箱  
入学、卒業シーズンで会員のおめでたが続出です。お祝い申し上げます。
1. 遠藤君 長男尚孝君 弘前大学医学部御卒業
2. 飯田神生君 次男克二君 早稲田大学理工学部御卒業 東洋電機御就職  
三男金三君 東京水産大学御卒業 大学院御進学
3. 深瀬君 長女蓉子さん 成城大学文芸学部英文科御卒業  
次女静子さん 武蔵野美術大学工芸デザイン科御入学
- ※ 出席報告  
先週の確定出席率 93.10% (会員29名 出席27名)  
函館クラブ 87.03% 函館東クラブ 88.41%

※ 卓 話 ヲヴォルゴグラツト紀行々より 外山定男君

芸大で英文学を専攻しているので、毎年多数の「テキスト」候補が送られて来ます。新年度の候補書中で、Alan Silitoe (作家 1928年生) の「Road to Volgograd」が面白かつたので、邦訳して断片的に御紹介します。ヴォルゴグラツトとは元のスターリングランドのことでした。

「土曜日の晩だつた。アブラゾフ劇場内の無階級のふん囲気は私の未経験のことだつた。客の大半は30才以下で、店や、工場や、事務所から来た顔、社会的には均等な顔で美しい劇場に坐つていた。劇はハリウツドの諷刺劇で、面白かつたが大したことはなかつた。」

「ロシア人にとってクレームリンは曾ては聖なる場所で、諺にモスコウにはクレームリンを除いては何物もなく、クレームリンの上には天があるのみとあつたが、今日では天を赤い旗と言ひ換えるべきであろう。」

「1人の男が舗道に坐つていた。相当酔つていて寝転がろうとする。数人の人が起きて家に帰るようにならぬと叫ぶ。彼は叫ぶ。はなしてくれ、俺を1人にしてくれ!と。その声の調子は、私には悲痛な闘争と感じた。」

「4人の芸術家に質問しました。もし私がヴォルゴグラツトの若い作家であるとしたら、最初に書物を出版したい時にどうするのかと。答は次のようであつた。通例は先ず地方の作家協会に持つてゆく。彼等は作品を読んでから討論会に私を招く。助言と批判が与えられ、良いとなればその地方の出版局に推薦してくれる。出版局の代表は新作品の評議会に出席し、気に入ればすぐ作家と出版契約を結ぶ。報酬は主題や作品の性質等で決められるが、作家が気に入らなければ他の出版者に行けばよい。又出版業者は1冊の小売値段のある%を著作家ユニオンに寄附する。この金は著作者達のための旅行資金、研究資金、憩いの場所、病氣等の場合の補償金等になる。」

「バイカル湖わきのイルクーツク附近には9つの都会が出来ていて、そのあるものは既に10万人以上の人間が住んでいる。」

「カール・ベンジャミン。彼は腕の良い職人で、運転手、機械工、溶接工、電気工等色々出来、それだけの俸給を貰う。生活は快適である。彼はシベリアに前進基地を造つた。そこでは人間はまだ根を持つていないが、孤立したダム、学校、討論するグループ、飛行機小屋のブロック等は忍耐の二字につきるように思われた。」

私が曾つて旅行した時とは違つて、どんどん都会が出来、飛行機で行き来しているとは驚きです。シベリアは変りつつあると思ひました。

※ 次回(3月30日)のプログラム

会員卓話 ヲ10年後のテレビ々 西村秀則君



通算才100号

1965~1966-3-23

函館北ロータリークラブ

第90回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

- ※ 司 会 遠藤会長 ※ 齊 唱 〃手に手つないで、  
 ※ ゲ ス ト ブラザー・オーラス氏 (函館ラ・サール高等学校長)  
 ※ ビジター 長谷川権九郎君他9名(函館) 出村喜作君他7名(函館東)  
 ※ 会 長 挨拶

3月20日を含む1週間は「世界理解週間」です。我々の生活で最も難しいのが対人関係で、殊に人種が異なれば理解が困難です。最近の世界情勢からみてもこの週間の意義は大きい。先輩のあるガバナーは「我々は現在生きてゆくことだけでも大変なのに、まして他人を理解することはなお大変である。複雑な世界が理解し合うためには、相手の身になつて考え努力することが理解の手段である。」と申しました。ロータリーの綱領の中にも同様の意味のことが載っています。諺に「他人の靴を履いてみるまではその人の批判をしてはいけな」とあり、又、ゲーテは母国のことを「ドイツは正すことを知つてゐるが助力することを知らない。」と評しましたが、正にその通りです。

我々のクラブも今までは内部にばかり眼をむけてきましたが、今後は外部にも眼をむけるべき時に来ていると思ひます。

※ 幹 事 報 告

今夜クラブ・アツセンブリーを行ないますので、全員御出席を願ひます。

※ 卓 話 〃最近ノカナダ々 ブラザー・オーラス氏

今週ハ「世界理解週間」ニ当タリマスガ、今ハ世界ノ中ニソソナニ理解ガ無イヨウデス。色々問題ガアリマス。ソレハ理解シナイカラ、協力ガ無イカラ起コルノデス。私ノ兄弟ハ14人デ、小サイ時ハヨク喧嘩ヲシマシタ。ソソナ時母ハ、イツモ理由を聞カナイデ、イケナイト叱リマシタ。今ハ世界モ、自分カラ喧嘩ヲ始メタノデハナイト思ツテイルヨウデス。

「バイブル」ノ中ニ、「望ンデイルコトヲ他人ニセヨ。望マシクナイコトヲ他人ニスルナ」トアリマス。ソウスレバ他人ヲ良ク理解出来テ親シクナルデショウ。「ラ・サール」ノ「モットー」ハ「Family spirit」デス。オ互イニ協力シ許スコト、コレヲ校内バカリデナク、全世界ニ及ボサナケレバナリマセン。

私ハ1年前、12月カラ2月ニ休暇ヲツツテ「カナダ」ニ帰リマシタ。今日ハソノコトヲ少シ話シマス。「カナダ」ト「アメリカ」ハ違イマス。人口ガ違イマス。「カナダ」ニハフランス系ノ人ト、イギリス系ノ人ガイマス。東ノケ